

## 令和2年度 ベストプラクティス企業への職場訪問

11月の過重労働解消キャンペーンの一環として、令和2年11月19日（木）に福井労働局長（山崎直紀）は厚生労働省の「業務改善助成金<sup>\*</sup>」を活用して機械設備を購入し、業務改善に取り組む企業の職場訪問を実施しました。

### ○職場訪問概要

- |           |                     |
|-----------|---------------------|
| 1 訪問日時    | 令和2年11月19日（木）14:00～ |
| 2 訪問企業の概要 |                     |
| (1) 企業の名称 | スキット株式会社            |
| (2) 所在地   | 福井市高木中央1-328        |
| (3) 代表者   | 代表取締役社長 田村美津雄       |
| (4) 労働者数  | 34人（パート含む）          |
| (5) 業務内容  | 印刷業                 |



### ○スキット株式会社の取組

#### 1 製造部門の作業時間の改善の取組

##### (1) 印刷物の計数作業の課題

従来の印刷物の計数作業については、計数時に折り曲げ跡が入るため裁断前の余白箇所で行っていたが、余白のある分サイズや重量が大きくなるため、1回に計数機に乗せる枚数も200枚程度に制限されるとともに、印刷物の台車やパレットからの移動作業においても身体に負担がかかる状態であった。

また、厚手の紙については計数できずに手作業での計数となっており、印刷物によっては、計数作業の前後の工程である裁断作業や出荷作業にも作業時間のロスが発生させる状態となっていた。

##### (2) 業務改善助成金の活用による計数機の購入による改善

福井労働局の業務改善助成金を活用し、工場1階にある計数機を新たに購入して入れ替えた。

その結果、折り曲げ跡が入らなくなったことから品質も向上するとともに、裁断後のサイズの小さい状態（最終形）で計数作業ができるようになり、印刷物の移動作業での身体的負担が減少した。

また、厚手の紙の計数もできるようになるなど、計数機的能力が上がったことから、計数作業の作業時間が20%の短縮となった。

《会社の取組について説明する田村社長》



《計数機による作業の説明の様子》



## 2 働き方改革の取組

### (1) 職場環境改善の取組

全労働者を3つの委員会に振り分けて活動し、特に環境委員会では職場環境や労務管理の改善提案についての取組を進めており、一定の成果につながったものは社内表彰を行っている。また、その改善提案などを踏まえて6か月ごとに賃金の見直しを行うなど、労働者を主体とした取組等による職場環境改善に努めている。

また、製造部門では上司と担当者間での作業目標の見える化により、作業効率の向上を図っている。

### (2) ワークライフバランスの取組

毎月第2水曜日をノー残業デーとし、また、年次有給休暇等の休暇取得時にも労働者が相互に作業補完ができるように、機械作業の多能工化を進めており、休暇の取得しやすい職場環境の整備に努めている。

また、短納期の注文に対しては、多能工によるシフト制を実施し、時差出勤で作業させることにより、残業時間の発生を極力抑える取組を実施している。

#### 《労働者との対談の様子》



これらの取組により、中途採用労働者も含めてこの5年間での離職者はなく、また、製造部門での時間外労働は短納期の注文以外はほとんど発生しない状態となっている。

#### 《職場訪問の記念撮影》



※左から、山崎局長、南部さん、玉田さん、安川さん、田村社長

※ **業務改善助成金**とは、中小企業・小規模事業者の生産性向上を支援することで、「事業場内最低賃金（事業場内で最も低い賃金）」の引上げを図るための制度です。

問合せ先 福井労働局雇用環境・均等室 0776-22-0221